

行雲流水

No.286 令和5年4月13日発行

育てたように子は育つ

校長 寒河江 正人

「子曰く、^{しいわ}苗にして^{なえ}秀でざる者あり。^{ひい}秀でて^{もの}実らざる者あり。」

(孔先生がおっしゃった。芽を出して、苗にまで生長したのに、花を咲かせることのない人がある。花は咲いても、実のならない人がある。たいへん残念なことである。)

孔子は、人間の成長を、植物の生長にたとえて、**なかなか思うようには育たない**ということ
を弟子たちに語っております。

どんなに「**良い素質**」をもっていたとしても、実を結ぶことができないままにいる若者を見て、「本人の努力が足りないから悪いのだ。」と短絡的に罵り、突き放すのではなく、**教育者として、そのような若者に力を貸して、実を結ばせてあげたいものだ**と諭しているのです。

孔子は、弟子の教育に際し、同じことを教えるにしても、その弟子個々の能力・特性をよく見て、一人ひとりに適した教育（個別最適化した指導・支援）を施したそうです。

《 年度始めの「**初発指導Ⅰ・Ⅱ**」で確認をした「**学習・生活上の約束事**」 》

「**伝えたつもり、伝わったはず」「理解したはず、できるはず**」になってはいませんか？
「**伝える**」と「**伝わる**」は、**そもそも違う**のです。

最初はよくても、人間というものは、必ず「**ゆりもどし**」は、生じるものなのです。
それが「**子どもというもの**」なのだということを大人は「**織り込み済み**」で理解して、**一人ひとりの実態に合わせて、丁寧に何度でも、できるまで寄り添って「待つ」姿勢を。**

「**できるまで、もう一回の丁寧な指導**」を！ **一年間じっくり時間をかけて育てましょう。**
「**決して根負けはしない。**」という大人（教職員と保護者）の「**渋とさ**」が肝要なのです。
大人の自己満足で、言うだけ言って、「あとは野となれ山となれ」では、無責任なり！！
生徒が「はばげで」しまって、学校に来られなくなるようでは、本末転倒！！
つまらぬ「**目先の見栄や欲**」のために、元も子も無くしてはいけません！！
「**急がば回れ！**」 私たち大人（教職員・保護者）には、「**賢い知恵**」があります。